

『自助』は防災の基本です

非常用持出品・備蓄品の準備について

大きな災害が発生したら、多くの方が負傷し、家屋にも大きな被害が発生します。電気・ガス・水道などのライフラインも止まり、最低限の日常生活も難しくなってきます。そのような時、行政などによる支援が届くまで自力で生活するだけの備えをしてください。

また、避難場所で過ごす場合に備えて非常食や持ち出し品を準備しておきましょう。




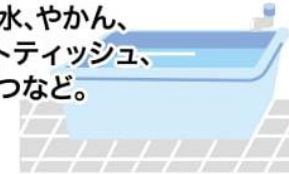
家庭によっては、赤ちゃんや高齢者、病気の方、アレルギー体質の方などのために必要なものも揃えておきましょう。



非常用持出品の準備例

| | |
|--|---|
| <p>①貴重品 現金(硬貨があると便利)、預金通帳、印鑑、免許証など。</p>  | <p>②携帯ラジオ 予備電池を用意。</p>  |
| <p>③非常食 乾パン、缶詰など火を通さなくても食べられるもの。水など。</p>  | <p>④懐中電灯 できれば防水型を一人一台。また、予備電池を用意。</p>  |
| <p>⑤救急薬品・常備薬 絆創膏、包帯、風邪薬、胃腸薬など。</p>  | <p>⑥衣類、その他 上着、下着、オムツ、生理用品、タオルなど。</p>  |

備蓄品の準備例

| | |
|---|---|
| <p>①食料品 (最低3日~1週間分) アルファ米や、缶詰、菓子類など。</p>  | <p>②水 1日3リットルを目安に準備。</p>  |
| <p>③燃料 卓上コンロ、ガスボンベ、固形燃料。</p>  | <p>④その他 生活用水、やかん、ウェットティッシュ、紙おむつなど。</p>  |